

仕様書（全自動免疫染色・特殊染色装置一式）

別紙1

【機器構成内訳】

品名	数量	単位
全自動免疫染色・特殊染色装置	1	式
（構成内容）		
自動免疫染色装置	1	式
自動特殊染色装置	1	式
コントロールシステム	1	式
病理オーダー連携用ミドルウェア内蔵サーバー	1	式
オンライン接続費用	1	式

【調達物品の備えるべき技術的要件】

（性能及び機能に関する要件）
1 自動免疫染色装置は、以下の要件を満たすこと。
1-1 外形寸法は、120cm（w）×100cm（d）×155cm（h）の範囲以内であること。
1-2 免疫組織染色（IHC）及びin situ ハイブリダイゼーション（ISH）を処理する機能を有し、かつ、これらを同時進行する機能を有すること。
1-3 Dual Color ISH（DISH）を処理する機能を有すること。
1-4 染色稼働中の追加スライド挿入及び完了スライド取出しを1枚単位で行う機能を有すること。
1-5 染色稼働中、処理を中断することなく試薬及びバッファーの追加に対応する機能を有すること。
1-6 一括処理枚数は30スライド以上であり、試薬セット数は35種類以上であること。
1-7 スライド表面を37～100℃の範囲内でスライド毎に異なった温度で制御する機能を有すること。
1-8 油分とそれ以外の廃液について、量をモニタリングし、自動で切り替える廃液分離機能を有すること。
1-9 タッチモニターを有し、本体から直接染色操作をする機能を有すること。
1-10 スライド式の作業棚を有すること。
2 自動特殊染色装置は、以下の要件を満たすこと。
2-1 外形寸法は、70cm（w）×70cm（d）×155cm（h）の範囲以内であること。
2-2 調整済みの試薬を使用することで金属やキシレン等有害物質への暴露が低減されていること。

2-3 独立したヒーターにより、ベーキング・脱パラフィン・染色までの一連の工程を自動化できる機能を有すること。
2-4 液量センサーを搭載することによりバッファー不足による装置の停止を未然に防ぐことができること。
3 コントロールシステムは、以下の要件を満たすこと。
3-1 自動免疫染色装置及び自動特殊染色装置を操作する機能を有すること。
3-2 自動免疫染色装置及び自動特殊染色装置の処理開始・中断を操作する機能を有すること。
3-3 自動免疫染色装置及び自動特殊染色装置の染色プロトコルのパラメータ（反応温度、反応時間）を調整する機能を有すること。また、調整後のプロトコルを保存する機能を有すること。
3-4 自動免疫染色装置及び自動特殊染色装置の染色工程及び試薬・バッファー・廃液の状況を取得して、液晶モニターに表示する機能を有すること。
3-5 自動免疫染色装置及び2自動特殊染色装置の試薬の種類、ロット番号、使用期限、残テスト数を管理する機能を有すること。
3-6 バーコードラベルを印刷する機能を有すること。印字するバーコードシンボルは、染色プロトコル及びプロトコルデータを識別するための情報を有すること。また、同一ラベル上に病理検体番号を併せて印字する機能を有すること。
4 病理オーダー連携用ミドルウェア内蔵サーバーは、以下の要件を満たすこと。
4-1 本院既存の病理システムと連携し、染色オーダーを受け取る機能を有すること。
4-2 使用にあたり接続ライセンスが必要である場合は、検査機器納入後7年間以上の接続ライセンスを有すること。
4-3 OSは、Windows Server 2022相当以上であること。